

日本生命財団 児童・少年の健全育成助成

# 「2023年度 実践的研究助成ワークショップ」のご案内

## 《2023年11月23日・ハイブリッド開催・ご参加無料》



### 後援

大阪府教育委員会  
京都府教育委員会  
滋賀県教育委員会  
奈良県教育委員会  
兵庫県教育委員会  
和歌山県教育委員会  
大阪市教育委員会  
京都市教育委員会  
神戸市教育委員会  
堺市教育委員会

府県・政令指定都市別50音順

○日本生命財団は財団設立40周年を記念し、2020年度より児童分野の研究助成制度をスタートいたしました。  
当助成は「実践的研究助成」と称し、研究チームは必ず現場の実践家(医師、教師、保育士等)を含めて構成する等を特色として、研究成果の社会還元・社会実装を目指すものとなっております。

○今回、2020～22年度助成に採択された11チームの研究成果を公開ワークショップ《2023年11月23日(木・祝日)開催》にて発表いたします(プログラムは裏面ご参照)。

○ご参加は、ご来場(大阪・淀屋橋)、オンラインいずれも可能です。奮ってお申込みください。お申込みは、下のQRコード、財団HPから。

### □「実践的研究助成」公募概要

助成期間	2年	1年
助成金額	最大400万	最大100万
助成対象	研究者、または実践家	研究者、または実践家(博士課程在籍者含む)
研究組織	研究者と実践家双方が必ず参画する	

※公募については、例年12月頃から開始いたします。

2023年11月23日 **木** 13:00-17:00

TKPガーデンシティ大阪淀屋橋  
〒541-0042 大阪市中央区今橋2-5-8 トレードピア淀屋橋ビル

■会場来場参加 申込〆切日 11月15日(水)

■オンライン参加 申込〆切日 11月17日(金)



### ご案内・お申込み

右記QRコード、または  
当財団ホームページから  
お申込みください。



ニッセイ財団 児童研究 ワークショップ



\* 席数には限りがございますので、申込はお早目に。

# 《プログラム》

13:00 開会挨拶 日本生命財団 理事長 林 武史

13:10 実践的研究助成報告

オンラインでは  
どの報告でもご  
視聴可能です

## ■第1分科会

- 『高校生の保護者に対する  
精神疾患に対するスティグマ介入開発』  
津田 菜摘 氏 (同志社大学 助教)
- 『医療的ケア児の無登校問題解決へ向けた  
アクション・リサーチ』  
千葉 伸彦 氏 (東北福祉大学 専任講師)
- 『子どもの反社会的行動の予防を実現する  
査定・介入システムの実装』  
吉澤 寛之 氏 (岐阜大学大学院 教授)
- 『アニメ動画を用いた主権者教育の実践  
とその効果に関する研究』  
蒔田 純 氏 (弘前大学 専任講師)
- 『発達障がい児の保護者が抱える子育て不安  
その実情とWeb支援の効果』  
片山 泰一 氏  
( (公社) 子どもの発達科学研究所 代表理事)
- 『地域における自閉スペクトラム児の  
早期発見・支援モデルの構築』  
井上 雅彦 氏 (鳥取大学大学院 教授)

## ■第2分科会

- 『高機能自閉症児における  
命題的心理化と言語能力の関連の検討』  
和田 恵 氏 (立教大学 博士過程)
- 『知的・発達障害児へのオンラインによる  
対人間関係支援ゲームプログラムの開発と普及』  
小島 道生 氏 (筑波大学 准教授)
- 『中等教育における  
インクルーシブ教育システムの開発研究』  
川合 紀宗 氏 (広島大学大学院 教授)
- 『早期空間認知トレーニングは  
子どもの文字認知発達を促進するか?』  
實吉 綾子 氏 (帝京大学 准教授)
- 『「児童間性暴力“ゼロ”のためのロードマップ」  
策定に関する研究』  
遠藤 洋二 氏 (関西福祉科学大学 教授)

16:40 総括 日本生命財団 児童・少年の健全育成助成選考委員会 委員長 松見淳子

17:00 閉会

